

令和5年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成「事業評価」(事業概要)

団体名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会	総合評価 <b>A</b>	評価基準(総合評価) S(非常に高く評価できるもの) A(高く評価できるもの) B(一定の水準にあるが一部課題のあるもの) C(一定の水準にあるがかなり課題のあるもの) D(全般的に多く課題のあるもの)
事業名	福祉への理解を深める(福祉教育)ツール作成・理解促進事業		
実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
助成(実績)額	4,076,839円		

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
<p>①&lt; (動画「のぞいてみましょカイゴのホント」)&gt;</p> <p>保護者や教員向け、福祉や介護を身近に感じたり、介護のしごとへのマイナスイメージを払拭する動画として「のぞいてみましょカイゴのホント」を作成した。</p> <p>ロングバージョン(5分) : <a href="https://youtu.be/PbPXlvR86OI">https://youtu.be/PbPXlvR86OI</a>            ショートバージョン(2分) : <a href="https://youtu.be/GfPvKIMLQH8">https://youtu.be/GfPvKIMLQH8</a>            (伝える内容/ポイント)</p> <p>職場環境の面でも処遇の面でも、働き続けやすくなっている。            ⇒処遇改善が進み、賃金水準が上昇している。離職率も減少している。            ⇒柔軟な働き方ができる。(有給休暇の取得率UP、残業時間減少)            ⇒ICT化やロボットの導入などが進み、身体的な負担が軽減されてきている。            ⇒キャリアUPができ、その分やりがいもUPする。</p> <p>②&lt; 介護等体験事業に参加する学生向け 事前学習動画&gt;</p> <p>介護等体験事業に参加する学生向け、事前学習を促す動画を作成した。</p> <p>(共通編、高齢者施設編、障がい者施設編、児童施設編)</p> <p>介護等体験事業は小中学校の教員資格取得に必要であり、5日間という限られた日数であることから、事前・事後学習のフォローを行うことで、何のため体験なのか、将来この体験を教師となったときにどのように活かせるかをしっかり考え、貴重な体験の機会を有意義なものにすることができるよう作製した。</p> <p>共通編の概要・・・介護等体験の基本、介護等体験の流れ、体験者の声            施設編(高齢者施設編、障がい者施設編、児童施設編)の概要・・・各施設の特徴(事業や利用者)、体験にあたり意識するポイント(コミュニケーションの取り方など)</p>	<p>①&lt; (動画「のぞいてみましょカイゴのホント」)&gt;</p> <p>広報周知のため、動画の情報を紙面に落とし込んだイメージアップチラシ(動画QR入り)と、Web広告で活用するランディングページ、デジタルサイネージやホームページバナーなどのPRコンテンツを作成した。また、YouTube動画広告(2分間のショートバージョンを流す)を行うとともに、行政をはじめ関係機関に対しチラシやサイネージデータ等を活用した周知協力(イベントや小中学校等へのチラシ配布、ホームページへのリンクやSNSでの発信、公共施設等でのサイネージ掲示、広報紙等への掲載、就職イベント等での動画再生など)を依頼し、視聴促進を図った。</p> <p>②&lt; 介護等体験事業に参加する学生向け 事前学習動画&gt;</p> <p>●介護等体験の調整を希望する大学(約80校、うち府内の大学51校)に対して、学生用の事前学習動画として動画リンクのアドレスを伝えた。</p> <p>参考) 令和5年度に府内で介護等体験を行った学生: 3,582人</p>  <p>桃山学院教育大学内で行われたガイダンスで講師を務めた府社協職員が介護等体験の事前学習動画を活用。あわせて福祉の理解を深めるための講義を行うことができた。(R6.11.2)</p>	<p>①&lt; 動画「のぞいてみましょカイゴのホント」&gt;</p> <p><b>成果1</b> この動画を見てほしい年齢層の多くの方に見ていただき、イメージの変化を促すことができた。(保護者や教員向け、福祉や介護を身近に感じたり、介護のしごとへのマイナスイメージを払拭)</p> <p><b>成果2</b> 関係者がこの動画を活用することにより、福祉・介護のしごとの啓発が広がりを見せつつある。</p> <p>●教師・保護者向け魅力発信動画 ロングバージョン(5分) 1,214回 ショートバージョン(2分) 884,831回(令和6年9月末現在)</p> <p>○ショートバージョンを100%再生した割合: 32.6%(約28.8万回)</p> <p>閲覧者の大半(97.2%)は年齢層が不明だが、年齢層が判明した閲覧者の割合は以下の通り。            ①55~64才: 30.5%、②45~54才: 22.4%、③35~44才: 8.0%、④25~34才: 7.3%</p> <p>●国際福祉機器展で全社協が大阪の動画(ロングver と介護の魅力アニメ)等を編集して放映</p> <p>●府内16市町のホームページに動画リンクが掲載された。</p> <p>②&lt; 介護等体験事業に参加する学生向け 事前学習動画&gt;</p> <p><b>成果3</b> 学生が介護等体験を有意義に体験できる可能性が高まった。※1</p> <p><b>成果4</b> 福祉への理解を深めるために学生に直接説明できる機会が増えた。※2</p> <p>※1 学生が介護等体験を有意義に体験できた場合の効果            (体験を通して結果的に、福祉施設の社会的意義を理解し、福祉施設の職員・利用者に対してポジティブなイメージを持つことができたとして)            ⇒卒後に小中学校の教員になる学生: 福祉・介護に理解のある教員が増える。            ⇒卒後に教員以外(一般企業等)に就職する学生: 福祉・介護に理解のある若者が増える。            (少し未来の話になるが)福祉・介護に理解のある保護者が増える。</p> <p>※2 府社協地域福祉部と人材センターとの連携により、介護等体験を切り口に福祉の理解を深めるためのガイダンスを各大学で展開すべく準備中(令和7年1月から開始予定)            左写真参照。事前学習動画をガイダンスで使用するツールの1つとして活用。</p>